

町行政推進員と町との意見交換会

～地域の **声** を町へ～

鶴田町行政推進員と町との意見交換会



皆さんの声が活力ある町をつくります。
4月28日(水)、国際交流会館ホールで『鶴田町行政推進員と町との意見交換会』が開催されました。出席した行政推進員の皆さんは、地区住民の声を代弁してさまざまな意見や要望を町に伝えていました。それでは、意見交換会の内容の一部をご紹介します。

今後の町の進む道は

Q【木筒】

五所川原市との合併が実現したのか。合併協議に提示した内容、これからの財源の切り詰め方など、詳しく教えてください。

A【総務課長】

昨年当町は、五所川原市との合併に向け、両市町による合併検討会を設置し、検討を重ねましたが不調に終わり、協議の経緯については住民説明会を開催し、ご説明をしたところであります。今後は行財政改革を推進しながら、効率的で持続可能な財政運営に努めてまいります。ご質問にありますが合併協議に提示した内容については、五所川原市側から示された5項目の条件に対する回答

と思いますが、広報12月号にも詳細に掲載しましたとおり、

1. 在任・定数特例での議員報酬の扱いについては、在任特例とし、鶴田町の議員は鶴田町の報酬のまま五所川原市の任期まで在任するものとする。農業委員会についても鶴田町議会議員の取扱いと同様とする。

2. 税金・保険料の市との一元化については、基本的には五所川原市の制度に合わせることにするが、不均一課税(5年以内)を適用してほしい。(法人税、町民税、固定資産税、国民健康保険税、介護保険料)

3. 市と異なる制度・施設の廃止については、五所川原市の制度に合わせることにする(保育料、住民票・戸籍等各種手数料、集会所使用料、上下(農集)水道料、各種健診)が、児童育成支援金、長寿祝金、敬老年金は、鶴田町独自の事業であり、継続して欲しい。

その他残して欲しい事業として

て挙げたものは、丹頂鶴自然公園、富士見湖パーク、フッドリバー市との姉妹都市交流、つるたまつり(桜まつりを含む)、ふるさと鶴田会、町民スポーツフェスティバル、朝ごはん運動、町特産果樹生産振興に対する支援措置の充実。

4. 学校を除く公的施設は、合併後に存続・廃止を検討することとし、合併協議会では、協議事項にしない。

5. 未着手事業の合併後の再検討については、合併協議会では協議事項にしないことで理解するもの、鶴田小学校の改修、梅沢小学校、給食センター、公営住宅の建て替えについては、懸案事項として今後の事業に残して欲しい。

この内容であります。また、これから5項目について協議するため、合併検討会の設置をお願いし3回



の協議を重ねましたが、最終的に解散に至っております。

鶴の里懇話会でも同様のご質問がありました。直ちに料金改定とか増税とかの議論の前に、行政がなすべきものあるいは、町民自らできるものなど共に協働しながらまちづくりを進め、真に必要な施策等を見極める意味からも各種事務事業の見直しや各種補助金の精査を行うことが不可欠であります。そのうえで、なおも財源不足が生ずる状況になるならば住民負担を求めることになろうかと思われませんが、財政見直しについては、今後の国の経済政策等の方針にもよりますが、不透明感が否めないところではあります。いずれにしましても各種サービスの低下に繋がらないよう配慮しながら、より鶴田らしく、他町村に誇れるまちづくり心がけ、小さいながらもきらりと光るまちづくりに努めてまいりたいと考えております。



議員定数について

Q【亀田】

今後、議員の定数についてどうなるのか。削減に取り組む等の考えはあるのか。

A【議会事務局長】

鶴田町の議員定数は、平成20年3月から、それまで16人であった議員の定数を4人削減して12人になっています。これは、地方自治法で定めている議員定数の上限が22人ですので、法律で定める定数から見ますと10人削減したことになっており、定数上限の44%を削減していることとなります。

議会は、活動として、常任委員会という制度もありますが、12人の議員で構成する議会では、せいぜい6人で構成する2つの常任委員会を組織するのがやっとです。議会の適正な活動のためにもこれ以上の削減は、民意が反映されない可能性もありますので、現在の12人が削減幅の限界と考えます。ちなみに、県内の人口が1万人以上2万人未満の町村の議会の議員の数は板柳町、大鰐町、六戸町が12人、鱒ヶ沢町が13人、平内町、階上町、野辺地町が14人、三戸町が16人、七戸町、藤崎町が18人、深浦町、中泊町、六ヶ所村が20人

五戸町が22人となっています。

当町の議会議員は板柳町、大鰐町、六戸町と同じで県内で最少の議員定数の団体のひとつです。そのため、現在のところは12人を進めたいと考えております。

未納問題について

Q【亀田】

近年保育料、学校給食費、町営住宅家賃の未納の問題が取りざたされていますが、当町の現状とその対策についてどうなっているか。

A【町民生活課長】

保育料につきましては、平成20年度から各保育所等に徴収業務を委託することで未納者がほとんどなくなっています。

【教育次長】

当町では、学校給食費の未納は小・中学校ともございません。

【建設整備課長】

町営住宅の未納者に対しては入居者本人や保証人に対しての徴収訪問や電話による催告の実施の外、未納状況により「未納通知書

「納付催告書」「法的措置予告兼催告書」等の文書による段階的措置を行っております。これに対して、未納者に誠意がないと判断した場合、最終的には明渡請求・訴訟等の法的措置を講じております。なお、町営住宅の未納額は平成22年4月9日現在で543万4000円となっております。

平成22年度 鶴田町行政推進員 (4月26日現在)

派立	原俊一	寺町	小野政一	仲町	太田博聰	本町	嶋博由	駅前通り	澤田直廣	田中町	花田秋造	桜町	松山久志	富士見町	伊藤昭二	公園通り	松江俊一	文化通り	澤田良造	鷹ノ尾	成田武男	相原町	三戸義明	みどり町	工藤正弘	あさひ町	佐藤哲三	駅東町	小林央史
----	-----	----	------	----	------	----	-----	------	------	-----	------	----	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	-----	------	------	------	------	------	-----	------

大性	神成ユイ	葛蒲川	佐藤常義	鶴泊	森良一郎	龜田	齋藤源悦郎	新田	坂本春義	大卷	笹森修一	強卷	奥隆幸	胡桃館	成田良八	中野	織田文雄	山道	一松和男	山井	中野謙壽	桂川	笹森秋	尾原	棟方秋敏	尾の尻	白戸政由	野木	花田哲昌	間山	乗田勝雄	木筒	秋庭清夫	鶴寿団地	木村敏夫	前中野	長内昭悦	川村昭六	天坂則行	西村良勝	米元	西村良勝	稲元	中野鐵榮	東瀬	成田良榮	西瀬	長尾利博	松山七郎	小坂正仁	横倉	鈴木春夫
----	------	-----	------	----	------	----	-------	----	------	----	------	----	-----	-----	------	----	------	----	------	----	------	----	-----	----	------	-----	------	----	------	----	------	----	------	------	------	-----	------	------	------	------	----	------	----	------	----	------	----	------	------	------	----	------